

# 夢を叶え、 憧れの舞台に挑む



## すぎやま 杉山 翔大選手

12月9日に中日ドラゴンズに入団した、早稲田大学4年生の杉山翔大さん(横田)が市長を表敬訪問しました。

杉山選手は、東総工業高校時代、入学と同時にキャッチャーに転向し、強肩、強打、俊足の捕手として県大会ベスト4に2度進出する原動力となりました。

高校時代もプロ野球から注目される選手でしたが、早稲田大学に進学し、1年生の春季リーグ戦から正捕手として抜擢され、現日本ハムファイターズの斎藤佑樹投手や、現西武ライオンズの大石達也投手らとバッテリーを組んでいました。

2年生の秋季リーグを制し、神宮大会決勝では、今年ドラフトで巨人に入った東海大学のエース菅野智之投手から、ヒットを放つなど全国優勝に貢献されました。

最上級生となった今年は、春季リーグ戦を制し、全日本大学野球選手権大会決勝でも、今年ドラフトで福岡ソフトバンクホークスに入った亜細亜大学のエース東浜巨投手から

ホームランを放つ活躍を見せ、全国制覇に4番ファーストとして貢献しました。

また、学生野球最後の秋季リーグ戦では、史上13人目となる三冠王に輝き、二度目のベストナインも獲得する大活躍を見せてくれました。

「野球を始めてからいろいろ苦労はありましたが、夢をあきらめずに努力した結果が

プロ野球入団につながったと思います」と、語っていました。中日ドラゴンズに入団後も「早くレギュラーとなり活躍し、地元皆さんの声援を忘れずに子どもたちに夢を与えられるような選手になれるようがんばります。また、地元への恩返しとして少年野球教室を開ければ良いと思います」と抱負を話していました。



- ① 中日ドラゴンズ入団会見
- ② 中日ドラゴンズへの入団が決まった杉山翔大選手が市長を表敬訪問
- ③ 全日本大学野球選手権大会優勝

